

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：21016

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇昨年度は、研究主題「意欲的に学ぶ子の育成」研究副主題「教科の本質×協働性を高める」を設定し、授業実践に取り組んだ。</p> <p>◇学校評価の児童アンケートでは、「自分の目標をもって生活をしている」「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」という項目において、やや高い傾向があった。学習や生活の場面において、自ら課題を見付け解決しようとしたり、目標に向かって自分の力を高めようとしたりする際に、粘り強く取り組もうとする姿勢が育ちつつあると捉えられる。</p>
	<p>◇令和7年全国学力・学習状況調査では、高い正答率であるものの、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」という項目において、やや低い傾向があった。学習内容は身に付いているものの、主体的な学びという点で伸び代があるといえる。</p> <p>◇学校評価アンケートでは、「学習習慣を身に付け、主体的に学習に取り組んでいるか」という項目において、教職員アンケートではやや高い傾向があるが、保護者アンケートではやや低い傾向にある。</p>
<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題</p> <p>◇札幌市の共通指標の「人の役に立つ人間になりたいと思う」や「自分にはよいところがある」という項目では、多くの子どもが肯定的な回答をしている。日常的に誰かのために行動したいという気持ちを持ち、実際に行動し、互いに認め合うことを大切にしてきた成果である。一方で、「自分の意見を発信すること」に関わる項目については、やや低い傾向がみられるため、協働的な学びの充実を目指した授業及び日常の学習活動の改善を目指していく。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

意欲的に学ぶ子の育成 ～他者と共に“もの・こと”へ関わり、粘り強く問題を解決する力～

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自主的な活動の充実 に向けて
	<p>【研究副主題「教科の本質×協働性を高める」の実現に向けた授業研究と振り返り】</p> <p>◇学年部会の視点による発達と実態に合わせた学びの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働性という視点で子どもの育ちを捉え、学年として目指す子どもの姿を明確にした学年カリキュラムを構築し実践、提案 <p>◇教科部会の視点による教科としての深い学びの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見方・考え方を働かせることを通して、子ども自身が自分にとっての学びの価値を見いだせるように、本質に迫る単元(題材)構成や教材の吟味を行う。そのために、各教科や単元(題材)のつながりを生かしたカリキュラムの開発 	<p>【自己効力感をもつ】</p> <p>◇目標達成や問題解決における自分の立ち位置を自覚したり、「かしこい」「たくましい」「やさしい」「ただし」の4つの視点から自分や他者のよさに目を向けたりする振り返りの場や相互評価の場の充実</p> <p>【子どもの発想が生きる活動】</p> <p>◇伏見 SDGs の実現を目指した児童会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな活動を生み出す ・伏見中学校区のつながりを生かす <p>◇自主自立タイムを活用した学年・学級での創造的な活動の充実</p>
<p>「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について</p>		
	<p>【個の課題探究を支える ICT 活用】</p> <p>◇デジタル教科書・デジタルワークシート等を活用した授業の実施</p> <p>◇学級以外の場所で授業を受けられるようにするオンライン授業の充実</p>	<p>【協働性を高める ICT 活用】</p> <p>◇デジタルワークシートを利用した即時的な考えの共有等の活用</p> <p>◇プレゼンテーションソフトなどを活用し、協働して活動する場面の充実</p>

<本プログラムの実行に向けて>



